



Title	日米関係（沖縄返還）14(山野対策庁長官・フィアリー民政官会談（45・9・29） 外務省外交史料館レファレンス番号：H260183)
Author(s)	-
Citation	平成26年度外交記録公開(1) 公開日：平成26年7月24日 外務省外交史料館管理番号：2014-2730 CD・DVD番号：H26-003
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

山形対策庁長官マアリノ民政官会談(外ノリ)

ソカヒ 石大博飯

大政事外外蔵官
事務次長 典房
巨官官審審長長
備録入電厚計
備録文会管給

閣官長 参断所企
閣官長 参領旅移

ア 参地中東
長 参北北保
中 参一
南 参下洋
審 参西東
欧 参

近ア長 参書近ア
経 次録録國万
長 参買統
経 参政技二
協 参一理
長 参条協規
團 参政経科
長 参社専
官 参道内外
交 参一

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

47

線番号(TA) 48264 沖繩 主管
70年9月29日 18時20分 米地
70年9月30日 01時00分 本省 発着

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

山野長官、米民政官との会談

第396号 略

29日山野対策庁長官はファイアリー米民政官を往訪し、約1時間にわたり会談したところ、その主要点次の通り。(日本側ヤシ局長、エツタ書記官、米側クレーマー企画局長同席)

1. 先づ長官より、来年度日政援助費の対策庁案を説明したが、民政官より、上記対策庁案によれば投融資が大はばな増額を見ているところ、右はGRI財政のあか字を招くおそれなきやと質したのに対し、長官は、右投融資は主として公共事業費によつて占められており、あか字を招かぬよう十分配慮したつもりである旨説明の上現在のあか字情勢については目下大蔵、自治、対策庁の3者で構成された調査団がえい意調査中なる旨述べた。

2. 民政官より、最近の新聞報道によれば、じゆん視てい「オキナワ」には海上保安庁所属の人員が配置される由であり、他方GRI総務局長にヤニ山出身の自治省職員が決定している由であるが、米側としては右に対し特に異議が

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

あるというわけではないが、かかる件に関しなるべく前広にGOJから相談を受けられないものかと思つている旨述べた。これに対し長官より、GOJとしてはGRIとの人事交流についての覚え書きが3者間で早急に取り交されることを望むものである旨述べるとともに、右覚え書きに関する日米間の話し合いには目下東京において行なわれていると了解するも、当地米側からも在京米大使館に対し本件促進方を働きかけられたい旨要望した。

3. 総合職業訓練所問題につき、長官より、あらためて米側の配慮方申入れたのに対し、民政官は、本件についての米側見解はつとにGOJに送付済であり、回答待ちの段階である旨述べたが、長官は、本件は失業保険あか字問題と関連しているが、復帰後は本土の失業保険制度と一体化するので右あか字財政はその段階でGOJがかた代りすることが制度の求むるところとなるうと説明されたところ、民政官はGOJのかかる考え方をしかるべき文書にしてみたいということが米側のかねてからの希望である旨付言した。

4. 最後に長官より、現在準備委で審議中の諸項目のうちりゆう政一般予算、税制、資金運用部資金の3項目については、GOJ内部において調整中で回答に暫時を要すべしと述べたところ民政官は、これらの分野におけるGOJの参加は大いにかん迎するところであり、米側として出来れ

秘

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

ばあれらについても次回代表会議までに一応の合意と申し、全項目を一括して解決したい所存なる旨表明した。
(了)